



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育 なう No.7

2020年8月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 209)

FAX 0573-25-7129

MAIL okumura-tamiko@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。

家庭教育「なう」QRコード →



コロナ禍の中、工夫して開催している家庭教育学級を紹介します

子育ては、「ワンオペ育児(夫婦のどちらか一方が一人で育児を行うこと)」にならないよう、親子のふれあいと、親同士の仲間づくりがとても大切です。しかし、コロナ禍の中、「新しい生活様式」「特別な夏」を過ごすことは、乳幼児期家庭教育学級、園や学校の家庭教育学級の開催を困難にしています。コロナ禍の中でも、子育てのストレスを減らし、親も子ども笑顔で成長できるよう、工夫して家庭教育学級を開催している取組を紹介します。

乳幼児期家庭教育学級の紹介



恵那市明智コミュニティセンター 乳幼児学級 在宅取組型 「LINE LIVEを使った手遊び・創作人形劇」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乳幼児学級は、8月まで休止中ですが、保護者と子どもたちのために、明智町のボランティアグループ「たぬきのポン太」の皆さんが、乳幼児向けの手遊び・クイズ・創作人形劇のライブ配信を行いました。

代表の伊藤和代さんが、LINEのLIVE機能を活用した配信を考案し、7月15日から8月まで毎週水曜日に配信をしました。見てくださったお母さんから、「また見たいです!」「子どもが手遊びを喜びました。」などの、メッセージが入り、とても励みになりました。

内容

- 7月15日 第1回
伊藤和代さんによる手遊び・手作りグッズを使った遊び歌
- 7月22日 第2回
「たぬきのポン太」メンバーの伊藤しきさんによる手遊び、
恵那市社会教育指導員の堀春美さんによる創作人形劇



LINELIVEの機器設定



手遊び・人形劇の様子



【このよさを学びたい!】

- ・コロナ禍の中、家で過ごしている保護者と子ども達のために、今できることを考えて取り組んでいること。
- ・乳幼児学級が開催されていなくても、「一人で子育てしているのではないよ」「ちゃんとつながっているよ」という発信になり、保護者の安心感につながっていること。

恵那市笠置コミュニティーセンター 乳幼児学級 在宅取組型 「Zoom ゆずっこ」

～今、できることを、みんなで工夫しながら、子育てと仲間づくりを！～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乳幼児学級が中止になっていましたが、6月から、オンライン乳幼児学級「Zoom ゆずっこ」を始めました。第1・第3木曜日に開催し、OB ママも参加しています。

Zoom は、映像と音声があるので、笑い声やおしゃべり、時にはぐずっている様子も分かり、元気に過ごしていること、成長の様子を、互いに知ることができて、嬉しさと楽しさとともに安心感が生まれます。

内容

運営は、正副学級長や Web システムが得意な保護者が、40分間の流れやテーマを計画して、LINE で連絡します。家にいながら、一つの画面の中で楽しく開催することができます。

6月 4日 今年度の目標

6月 18日 セタの願いを公表できるように連絡し、参加者は紙に書いて準備しました。そして、絵本の読み聞かせや、お誕生会も行いました。

7月・8月 歯科衛生士さんに「食べることは生きること」をテーマに10分映像を作っていただき、3回に分けて学びました。



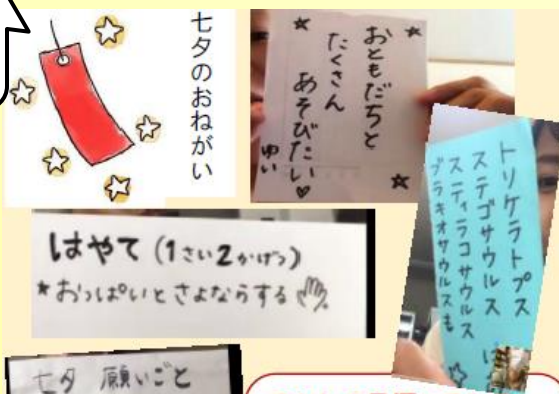
Zoom 画面です。アンパンマンは6月のお誕生日カードです。裏面には、写真と保護者からの誕生日メッセージが書いてあります。



セタの願いを紙に書いて、Zoom で発表しました。



当番のお母さんが、画面に向かって読み聞かせを始めると、子ども達が一緒にかわいい声で「よいしょ!」と声をかけました。たまらなくかわいかったです。



ことしの目標ベスト3
自分でごはんを食べる。
自分で着替える。
自分でトイレをする。

手形・足形スタンプデザイン T シャツを、今年はおうちで作りました。足形を使ったスイカや自動車、ペンギン。手形を使ったお花や恐竜など、工夫がいっぱいでした。



←黄色の手形で↓ひまわりの花

【このよさを学びたい!】

- ・Zoom のよさを活用して、親子で、家で取り組んだセタのお願いや、デザイン T シャツを、発表し合って交流ができたこと。
- ・顔を見て、声を聞いて、一緒に活動ができ、共に子どもの成長を確かめ合うことができたこと。
- ・保護者も子どもも、「仲間と一緒に」という安心感をもつことができたこと。



中津川市乳幼児期家庭教育学級担当者会

「With コロナの中で乳幼児学級を開催するにあたって」

日時 令和2年8月27日(木) 13:30~15:00
 参加者 乳幼児期家庭教育学級担当者
 場所 中津川市中央公民館

コロナ禍の中で10月から乳幼児学級を開催するために「できること」を考え合う

中津川市では、コロナ禍で延期していた乳幼児期家庭教育学級を10月から開催するために、準備が進められています。8月27日に、市内13の公民館の担当者と市の担当者が集まり、コロナ禍の中で、どのように学級を開催したらいいのか、事例を挙げながら、話し合いました。

内容

With コロナの中で乳幼児学級を開催するにあたって

恵那県事務所振興防災課 家庭教育推進専門職 奥村 多美子

・乳幼児学級の意義

乳幼児期の子どもをもつ保護者が、子育てについて学び、仲間づくりをする場。子どもの社会性を養う場。

・コロナ禍の中での乳幼児学級の意義

外出自粛が続き、乳幼児期の子どもをもつ保護者の交流の場がなくなっている。「孤育て」「ワンオペ育児」によってストレスを感じる事が多くなっている。コロナ禍だからこそ、保護者同士がつながり、思いを伝え合ったり悩みを相談したり、親子が笑顔で活動したりすることが大切。

・東濃各市の開催状況について

・県内の開催事例について

岐阜地区家庭教育学級応援通信「みんなで子育て」No.5、NO.6の本巣市子どもセンター、岐南町夏休み子ども教室、羽島市児童センターのコロナ禍での開催の様子を紹介。

グループトーク「安心安全に学級を開催する方法」

- ・ソーシャルディスタンスを子ども達に保つにはどうするか。
→学級は、親がソーシャルディスタンスを学ぶ場。親が子どもに教え見守る。
- ・床の消毒をどこまでやればいいのか。
→親が自分の場所は自分で守る。バスタオル持参をお願いします。
- ・手型は、前後に手をしっかり洗えば、できる。
- ・散歩も取り入れる。
- ・おもちゃを手作りしてから講話に入れば、子どもが動き回らずに、手作りおもちゃで遊び、親が講話を聴くことができる。
- ・お母さん達と、どんなことができるのか話し合ってみる。 等



講話「With コロナの中で乳幼児学級を開催するにあたって」



「安心安全に学級を開催する方法」についてグループで話し合いました

【このよさを学びたい!】

- ・10月から乳幼児期家庭教育学級が開催されるのに合わせて、中津川市内すべての公民館の担当者が集まって研修することで、情報共有ができたこと。
- ・グループトークで出された質問に対して、社会教育指導員の安藤さん、家庭教育支援員の小川さんから、具体的なアドバイスがあり、開催の内容や方法が分かったこと。
- ・加藤係長が最後の挨拶で、「親の学びの機会を設定していくことが市の役割です。学級マニュアルに基づいて安全対策を講じて実施してください。」と話され、この会を通して、学級開催に向けた安心感につながったこと。



グループトークでは、学級開催にあたっての心配なことを話し合いました



社会教育指導員 安藤さんが、グループトークで出た質問について、アドバイスをしました。